

# 松江市 報道機関配布資料

令和8年3月25日

## 件名

松江城伐採木有効活用・宍道神楽面伍面会制作「神楽面スサノオノミコト（素戔鳴尊）」の寄贈について

## 内容

令和4年度「松江城伐採木有効活用アイデア募集」で、宍道神楽面伍面会から提案をいただいた、「神楽面スサノオノミコト（素戔鳴尊）」が完成し、このほど寄贈いただくこととなりました。  
つきましては、下記のとおり市長室にて寄贈いただきますのでお知らせします。  
神楽面は、堀川遊覧船大手前乗船場待合室に4月下旬頃に展示予定です。

## 記

- とき 令和8年4月3日(金) 14時00分から14時20分
- ところ 松江市役所 新庁舎3階 市長室
- 出席者 寄贈者：宍道神楽面伍面会 会長 田中 榮一 様  
" 会員 秦 美由紀 様  
松江市：松江市長  
文化スポーツ部長 桑原 賢司

## 【問い合わせ】

文化スポーツ部 松江城・史料調査課 担当：木下 電話：55-5378

# (1) 樹木伐採と有効活用アイデア募集 (令和4年度)

## ○樹木伐採 (本丸東側) 令和5年1月~3月末

・ 天守への「延焼防止」「石垣保全」のため、樹木49本を伐採

## ○有効活用アイデア募集 令和5年1月~4月末

・ これまでに以下のアイデアを実現 (令和7年度で完了)

★令和7年度はバッジと神楽面が完成



<p>プラバホール座席札</p> <p>R5 済</p>	<p>ベンチ</p> <p>R5 済</p>	<p>書架 (本棚)</p> <p>R6 済</p>	<p>積木</p> <p>R6 済</p>
<p>野地板 (倉庫で保管)</p> <p>R5 済</p>	<p>神楽面</p> <p>R7完成</p>	<p>御城印</p> <p>R6 済</p>	<p>バッジ</p> <p>R7 済</p>

## (2) 宍道神楽面伍面会制作「素戔鳴尊」神楽面

### ○宍道神楽面伍面会について

- ・昭和51年発足、氷川神社に神楽を奉納する傍ら、自ら使う神楽面も制作される。
- ・令和4年度「松江城伐採木有効活用アイデア募集」で、神楽面を制作し、松江市で活用することを提案された。
- ・今回の神楽面は、田中榮一会長はじめ6名のメンバーで制作された。

### ○神楽面の仕様

- ・ヒノキ製、胡粉(ごふん)塗り、額縁(42.5cm×31.5cm)に装着

### ○市長面会の予定

- ・4月3日(金)14時、会長田中榮一様と、会員秦美由紀様が市長に面会し寄贈



### (3) 神楽面展示イメージ (大手前広場乗船場待合室)

○堀川遊覧船事務所と協議し、待合室に展示して貰うこととした。



乗船場待合室  
(乗船口)

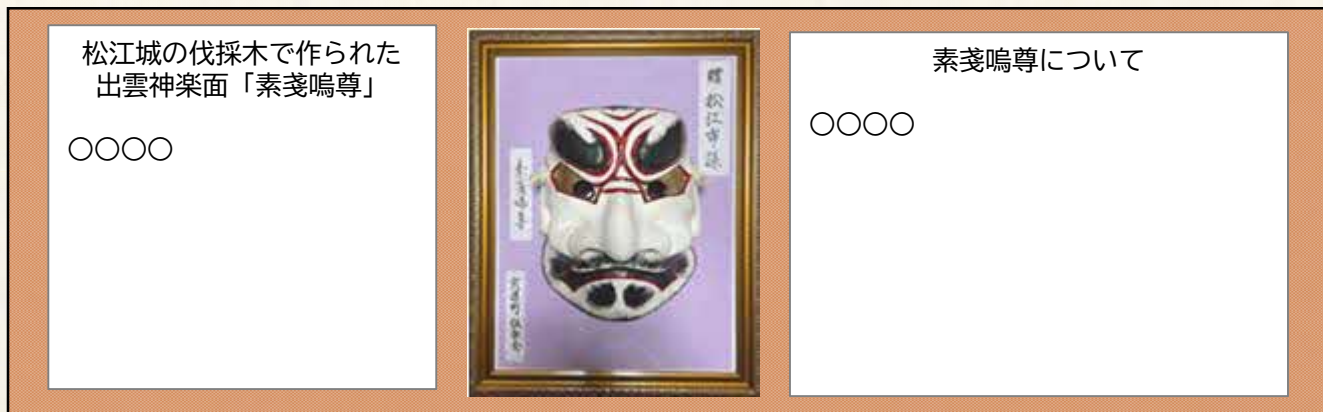


(取付方法)  
乗船口上の「松江城天守国宝指定10周年」を取り外し、ガラスの木枠部分(黄線)にボードを取付け、神楽面と左右に解説文を取り付ける。

★令和8年4月末頃に展示する予定

## (4) 神楽面展示イメージ (大手前広場乗船場待合室)

### ○神楽面の設置イメージ詳細



### 松江城の伐採木で作られた 出雲神楽面「素戔鳴尊」

(制作者) 宍道神楽面「伍面会」  
令和8年3月 完成

(経 緯) この神楽面は、令和5年3月、  
松江城で伐採された樹木の  
有効活用アイディアの提案に  
より制作されました。

(仕 様) ヒノキ製、胡粉(ごふん)塗り

### 素戔鳴尊について

出雲神話に登場する「素戔鳴尊」は、高天原を追放されて出雲に降りた後、「櫛名田比売命」と出会い、八岐大蛇を退治したことで有名な神です。

素戔鳴尊は、中国山地から派生する斐伊川を八岐大蛇に見立て、荒ぶる川を平定した豊饒の守護神とか、斐伊川で採れる砂鉄をもとに製鉄技術をもたらした神とも言われています。

こうしたことから、遊覧船が運航する堀川の安全を見守る神とも言えるでしょう。

※ルビを振ります